47期（2021年度）

2021年9月～2022年8月

エコアクション21
認証番号 0002180

環境経営レポート

協栄エコソリューション
株式会社

発行日　2022年 10月 20 日

組織の概要

1)事業所名及び代表者氏名

協栄エコソリューション　株式会社　（旧：株式会社　協栄産業）　2017年11月より
代表取締役社長　　寺重　裕弘
設立　昭和50年9月
資本金　1200万円
URL http://www.kyoto-kyoei.co.jp
E-mail　kyoei@kyoto-kyoei.co.jp

2)所在地

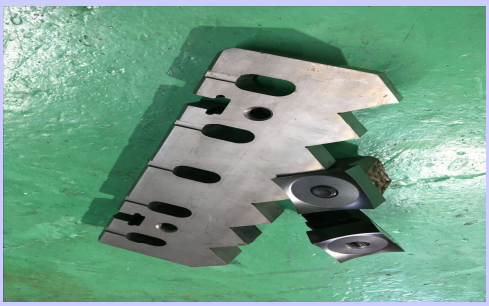
本社・工場　　〒611-0041　京都府宇治市槙島町落合87-4
第一機材センター　〒611-0041　京都府宇治市槙島町落合88-5
第二機材センター　〒610-0121　城陽市寺田南川顔71番地
TEL　0774-20-3225　　FAX　0774-21-3818

3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　嶋崎　恵
連絡先　TEL：0774-20-3225　FAX：0774-21-3818
E-mail　me-shimazaki@kyoto-kyoei.co.jp

4)事業内容について

1975年創業以来、砂利砕石製造設備の設計施工販売で培ってきた破砕すること、選別すること、搬送することを軸とした技術を生かし、これからの地球環境問題に事業活動を通じて取り組む企業です。

耐磨耗鋳鋼品販売 各種搬送機器伝導機販売	プラント設計・施工 骨材製造プラント、廃棄物処理プラント	アフターサービス
		

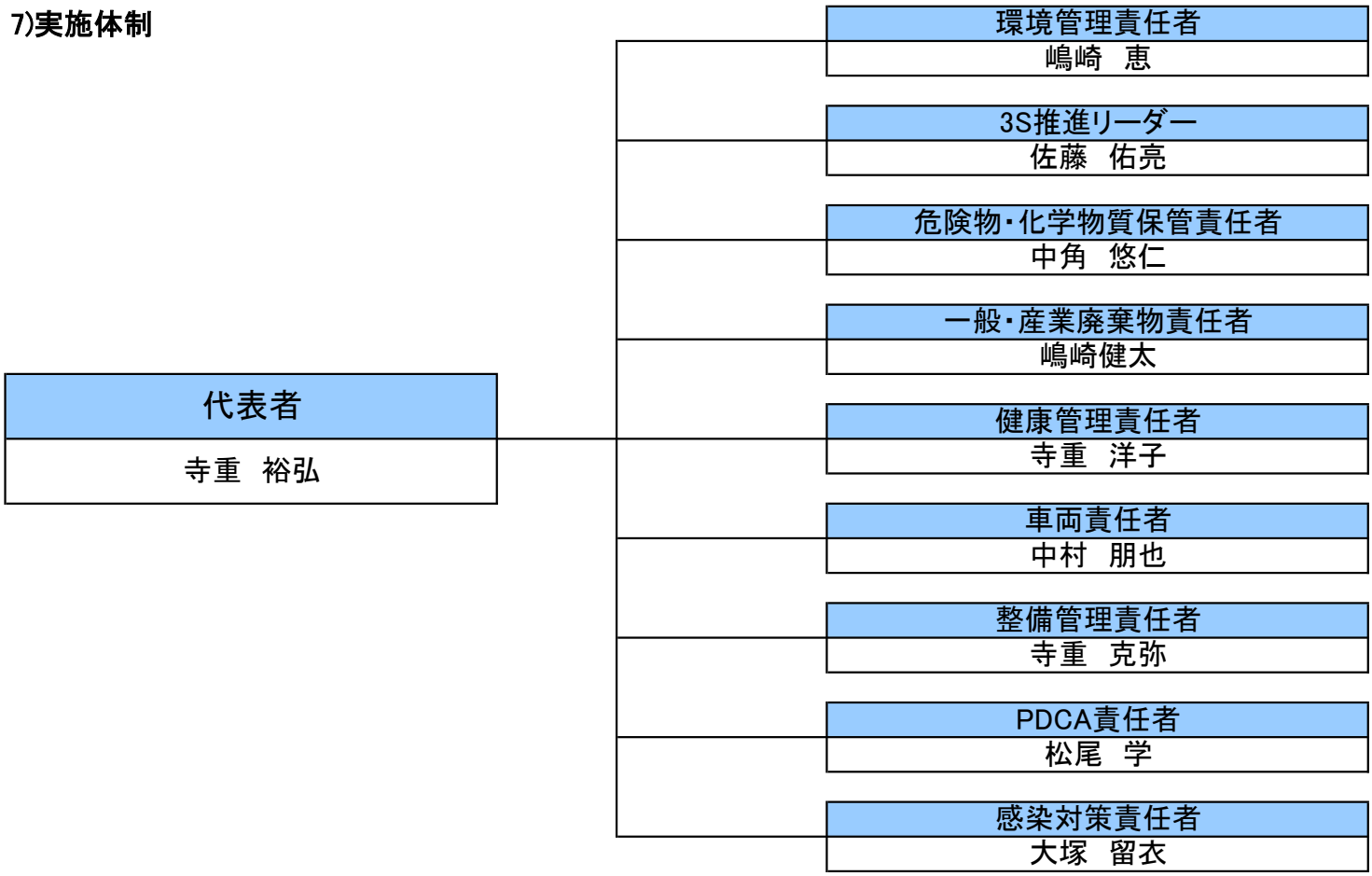
5)事業規模

活動規模	単位	45期(2019年)	46期(2020年)	47期(2021年)
売上高	百万円	496	408	670
従業員	人	9	10	11
床面積	㎡	600	600	600

6)事業年度　　9月-8月

□認証・登録の対象組織
1)登録組織名　　宇治市槙島町落合87-4
2)活動内容　　耐磨耗鋳鋼販売、プラント設計施工、アフターサービス
3)対象事業所　　本社・工場・第一機材センター・第二機材センター

7)実施体制



役割	責任及び権限	担当
代表者	・環境方針の設定 ・従業員に対し、指示及び改善箇所の見直し ・環境経営ｼｽﾃﾑの総括責任者 ・改正等の確認及び指示 ・代表者による見直し	寺重裕弘
環境管理責任者	・書類作成及びﾃﾞｰﾀ入力 ・教育、訓練計画及び是正・指示 ・環境管理ｼｽﾃﾑの是正・指示 ・法令改正等のチェック及び見直し	嶋崎恵
3S推進リーダー	・工場内の整理整頓 ・毎朝の10分間清掃	佐藤佑亮
備品・危険物・科学物質保管責任者	・ｱｾﾁﾚﾝ、酸素、炭素ｶﾞｽの在庫管理 ・塗料缶等管理	中角悠仁
産業廃棄物責任者	・分別の徹底 ・保管場所の整理整頓	嶋崎健太
車両責任者	・定期的な車両チェック確認、提出、改善 ・エコドライブの呼びかけ、指導	中村朋也
健康管理責任者	・職場の衛生管理 ・健康診断実施責任者及び健康だより回覧	寺重洋子
備品管理責任者	・消火器の期限確認 ・看板設置、チェック確認	寺重克弥
PDCA責任者	・PDCA指導及び指示	松尾学
感染対策責任者	・感染症に関わる情報及び対策を指示 ・感染症に関わる消耗部品管理	大塚留衣

環境基本方針

●環境理念

環境に配慮した事業活動を推進することにより、地球環境の保全に貢献し、
社会から信頼される企業を目指します。

●環境方針

当社は、環境理念を具体的に実現するために、環境マネジメントシステム(EA21)を構築・運用し、
全社員参加のもと次のことを実施します。

1.環境負荷低減の推進

省エネルギー化の推進（二酸化炭素の排出量削減）
廃棄物の削減・リサイクル化の推進
環境に配慮したサービスを推進
水資源の削減を推進
化学物質の削減を推進
グリーン購入を推進

2.目的・目標の設定、見直しおよび継続的改善

エコアクション21に基づき、定期的な見直しを図り、

3.法規制の遵守

環境関連の法規制および協定等を遵守する

4.全社員への周知

当社環境方針を社員全員に対し掲示する。
定期的な社員教育の実施

5.社外への公表

環境経営レポートを作成し、社外にも公表する

代表取締役　寺重　裕弘

環境目標

主な負荷の実績と環境目標

社員全員が意識を持ち、数値を把握しながら、取り組んでいきます。

基準値を46期(2020年)として、47期(2021年)0.5%　48期(2022年) 1.0%　49期(2023年)1.5%削減を目指す

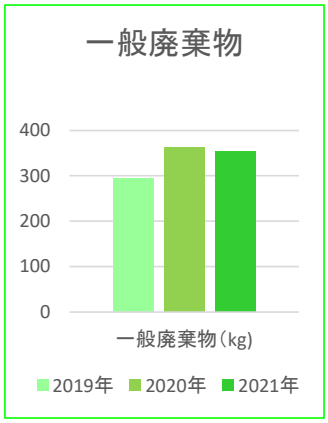
奈良電力の2018年度のCO_2排出係数は0.000561t-CO_2/kWh

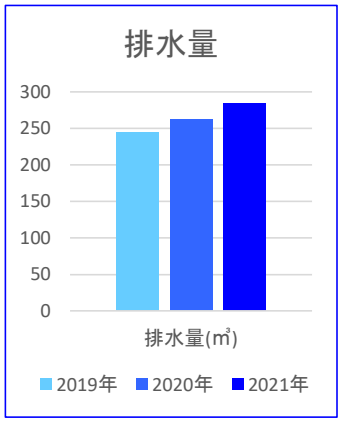
ｲﾝﾌﾟｯﾄ項目	単位	項目	46期 2020年	47期(今年度) 2021年	47期 2021年	48期 2022年	49期 2023年
			基準	0.5%削減目標	実績	1.0%削減	1.5%削減
購入電力投入量	kWh	目標	11,892	11,833	12,366	11,774	11,773
灯油投入量	L	目標	249	247	306	245	244
ガソリン投入量	L	目標	4,695	4,671	4,732	4,648	9,296
軽油投入量	L	目標	5,747	5,718	6,670	5,689	5,689
低圧電力投入量	kWh	目標	3,896	3,877	3,627	3,858	3,857
化学物質投入量(塗料)	Kg	目標	273	271	240	269	268
化学物質投入量(ｼﾝﾅｰ)	L	目標	112	111	176	110	109
水資源投入量	㎥	目標	262	260	284	258	257
総エネルギー投入量	MJ	目標	27,334	27,197	30,232	27,061	26,926

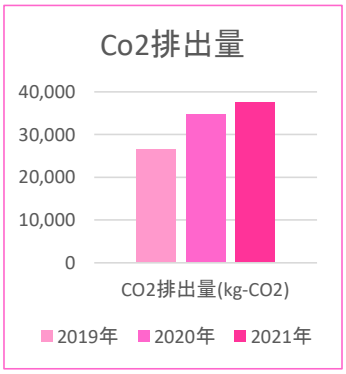
ｱｳﾄﾌﾟｯﾄ項目	単位	項目	46期 2020年	47期(今年度) 2021年	47期 2021年	48期 2022年	49期 2023年
			基準	0.5%削減	実績	1.0%削減	1.5%削減
二酸化炭素排出量	kg-CO2	目標	34,812	34,638	37,540	34,465	34,464
総排水量	㎥	目標	262	260	284	258	257
一般廃棄物排出量	kg	目標	362	360	353	358	357
産業廃棄物排出量	kg	目標	140	139	0	138	137

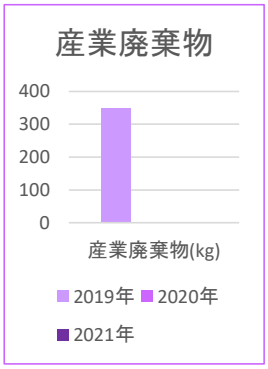
*二酸化炭素排出量に関しては、当社のCO_2排出量から太陽光発電(100%売電)による社会のCO_2削減量を差し引いた数値としています。
太陽光発電のCO_2排出係数は0.000334t-CO_2/kWh

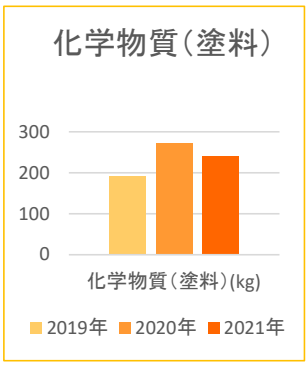
項目	2019年	2020年	2021年
一般廃棄物(kg)	295	362	353
排水量(㎥)	245	262	284
CO2排出量(kg-CO2)	26,444	34,812	37,540
産業廃棄物(kg)	350	0	0
化学物質(塗料)(kg)	192	273	240
化学物質(ｼﾝﾅｰ)(L)	80	112	176

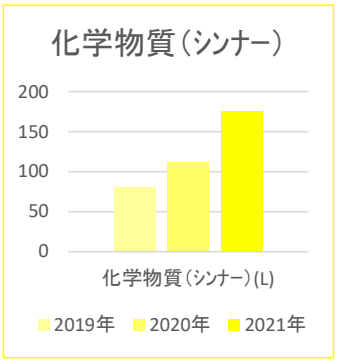












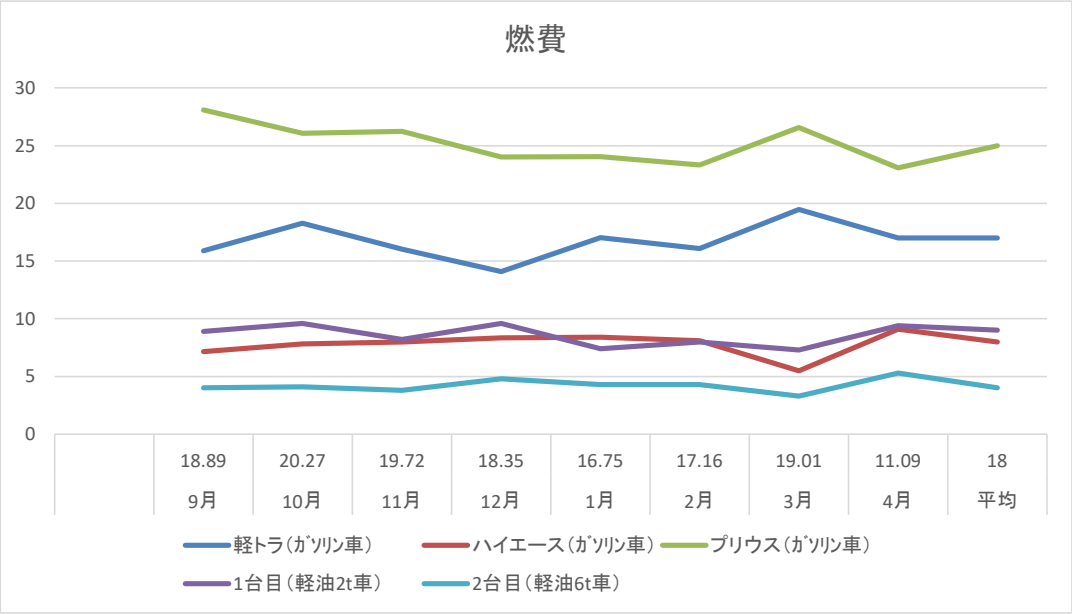
★★太陽光発電によるCO2削減★★
排出係数：0.334kg-CO2/kWh（2019年）にて算出

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力量	−180,500	−172,000	−167,300	−122,800	−134,900	−108,900
CO2削減	−602.87	−574.48	−558.8	−410.15	451	−363.73

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力量	−1,590	−2,135	−2,656	−2,225	−2,355	−2,133	−717,404
CO2削減	−531.06	−713.09	−887.1	−743.15	−786.57	−712	−5,298

★★ガソリン・軽油の燃費の統計★★

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	平均
	18.89	20.27	19.72	18.35	16.75	17.16	19.01	11.09	18
軽トラ（ｶﾞｿﾘﾝ車）	15.9	18.28	16.03	14.08	17.03	16.09	19.45	17.01	17
ハイエース（ｶﾞｿﾘﾝ車）	7.15	7.8	7.98	8.35	8.4	8.09	5.5	9.1	8
プリウス（ｶﾞｿﾘﾝ車）	28.08	26.04	26.23	24.02	24.04	23.31	26.58	23.07	25
1台目（軽油2t車）	8.9	9.6	8.2	9.6	7.4	8	7.3	9.4	9
2台目（軽油6t車）	4	4.1	3.8	4.8	4.3	4.3	3.3	5.3	4



環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み	2021年度達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減	未達成		
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	○	継続	猛暑日が続き、前部屋のエアコン使用など
・生産工程の待機時間短縮	○	強化	コロナ感染対策として、休憩所を分けたりなど
・昼休みの消灯	◎	継続	密対策なども行った結果、削減には至らなかった。
・不要照明の消灯	◎	継続	今度、生産工程等作業効率を見直し、削減に努めて
・OA機器の省エネモード設定	◎	継続	いきたい。
・生産設備のムダ防止	○	強化	
・白熱灯をLED電球に交換	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	未達成		
・アイドリングストップ	○	継続	コロナ感染対策として、車両台数を増やすなど、
・急加速の抑制	○	継続	削減には至らなかったが、日々の点検など車両管理は
・冷房の控えめ使用	△	強化	徹底できた。今後も継続して車両管理を徹底していきたい
・買換え時は燃費マークを優先する	○	継続	
産業廃棄物の削減	達成		
・分別保管場所設置	◎	継続	ﾘｻｲｸﾙできるものは徹底して分別を行った結果、
・無駄のない材料手配	◎	継続	産業廃棄物としては今年度は出なかった。今後も
			継続して行っていきたい。
一般廃棄物の削減	達成		
・分別ボックスの設置	◎	継続	分別の徹底、紙ｺｯﾌﾟ、割りばし禁止など、できるだけ
・裏紙使用	◎	継続	ゴミを出さないよう徹底したことにより、削減できた。今後も
・古紙のリサイクル化	◎	継続	継続して行っていきたい。
節水	未達成		
・雨水の利用	△	強化	コロナ対策として、手洗いの回数が増えたり、
・手洗い水量の適正化	×	強化	猛暑の為、洗濯回数が増えるなど削減には至らなかったが、
・清掃時の節水	△	強化	今後は雨水の利用方法の見直しなどを削減に努めていきたい。
グリーン購入	達成		
・事務用品はグリーンマークを選ぶ		継続	新規事務商品購入の場合は、詰め替えがあるかを確認して
・環境に配慮した製品を選ぶ		継続	購入しているので、今後も継続していきたい
製品への環境配慮	達成		
・梱包の簡素化		継続	環境に配慮した資材、塗料などプラント施工に関して
・部品交換時のリサイクル化		継続	提案していきたい
・環境配慮設計（ﾌﾟﾗﾝﾄ、機械設備）		継続	
社会貢献	達成		
・地域との交流を深める		継続	年3回の清掃活動は継続して今後も範囲を拡大して行っていきたい

環境への取組状況

環境保全の取組ﾁｪｯｸ結果

環境保全の取組チェックリスト

おおむね実施(3)　一部実施（2）　未実施（1）　と評価点数とする

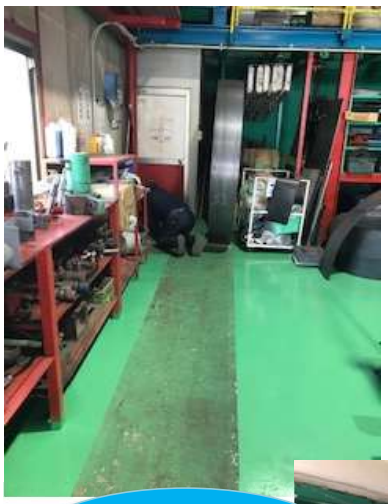
項目	2019年	2022年	満点	割合100%
ｲﾝﾌﾟｯﾄ、ｱｳﾄﾌﾟｯﾄに関する項目				
節水、水の効率利用	2	2	3	
省エネに取り組んでいるか	3	3	3	
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化に取り組んでいるか	3	3	3	
両面印刷、両面ｺﾋﾟｰを徹底しているか	3	3	3	
空調の適温化を徹底しているか	3	3	3	
化学物質、危険物保管を徹底しているか	3	2	3	
ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ等運転方法を配慮しているか	2	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
ごみの分別をしているか	3	3	3	
	25	25	27	96%
環境関連法規制等の遵守状況に関する項目				
法規制を整理しているか	3	3	3	
自社に対応する法規制の一覧表を作成しているか	3	3	3	
定期的なﾁｪｯｸ体制があるか	3	3	3	
	9	9	9	100%
環境ｺﾐﾆｹｰｼｮﾝに関する項目				
外部等意見や苦情、問い合わせなどの対応をしているか	3	3	3	
緊急連絡方法を定めているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
環境方針に関する項目				
環境に対する方針が策定されているか	3	3	3	
方針を掲示しているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
環境活動に関する項目				
目標数値を把握し、環境を目標を設定しているか	3	3	3	
緊急時等ﾏﾆｭｱﾙや訓練を行っているか	3	3	3	
3S活動を推進しているか	3	3	3	
全社員教育を行っているか	3	3	3	
環境管理体制に基づき作業が進んでいるか	3	3	3	
	15	15	15	100%
ｸﾞﾘｰﾝ購入に関する項目				
清掃時における洗剤は、化学物質の含有量が低い物を選んでいるか	3	3	3	
ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰについて、ｼﾝｸﾞﾙ巻き芯なしを購入しているか	3	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
ｺﾋﾟｰ用紙等事務用品を再生材料の製品で購入しているか	3	3	3	
	12	12	12	100%

秋の清掃活動

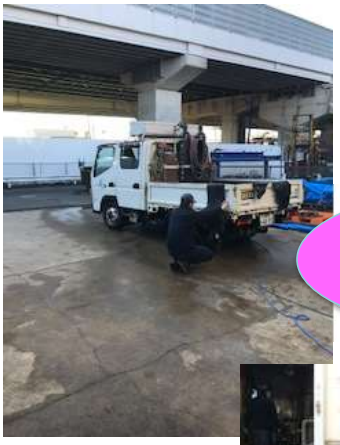
駐車場の雑草抜き

会社の周辺のゴミ
がこんなにも

3S活動



工場の床塗装



週一の車両清掃

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等	遵守状況	遵守報告
資源有効利用促進法	遵守	廃棄時、ﾊﾟｿｺﾝのﾒｰｶｰ回収に協力している
消防法	遵守	該当する物質は、密閉容器に保管している。
高圧ガス保安法	遵守	該当するガスは、高圧容器に保管している。
家電リサイクル法	遵守	対象家電（TV,ｴｱｺﾝ、冷蔵庫、洗濯機）の適正処理を委託し、費用の負担を行っている
自動車リサイクル法	遵守	廃車時、適正に処理を委託している
廃棄物処理法	遵守	一般廃棄物は、自治体に従い処理をしている
		産業廃棄物は、法律の従い処理をしている
浄化槽法	遵守	専門業者に委託し、定期点検を実施している
フロン排出抑制法	遵守	年4回の定期検査を行っている

※2022年10月に環境法規最新情報の確認を行った。

※当社の業務範囲で該当する環境関係法規は、上記法規の規定内容を遵守している。

※なお、関係当局により違反等の指摘は過去三年間ありません。

代表者の見直し報告・結果

2020年から続くコロナ化が2年を過ぎようとしてますが、

前年度に続き客先の売上減少に伴い、影響が出てはいるものの

プラント工事があったりしたので、売上自体にはさほど影響はなかったが、部品供給は減少した。

昨年より若手社員が加わり、色々な方法で試行錯誤しながら、マンネリ化した社内の取り組みを変えつつあり、

今後もっとより良い削減対策などの提案を進めていただきたいと思います。

変更の必要性の指示

【環境経営方針】　□有　■無

【環境経営目標・環境経営計画】　■有　□無　　原単位にて数値を把握する方法を検討

【実施体制】■有　□無　　社員雇用の為、変更